

機械・航空機

# 搭乗橋、機体ドアに自動装着

## 新明和、旅客機向け技術

新明和工業は旅客機の機体ドアに航空旅客搭乗橋（PBB）を自動装着する技術を開発した。現在、PBBの装着は手動のみ。自動化で人手不足を補い、空港運営効率化に貢献する。すでに徳島空港で機体10台が手前まで自動でPBBを寄せ、最後は人がボタンを押して装着する実証実験を行った。今後は同仕様で運用し精度を高めつつ、2020年にも遠隔操作による完全自動装着の試験を始めたことを発表した。



▲新明和の航空旅客搭乗橋

訪日外国人の増加や30%弱で2位。付加価値向上やアフターサービスクリック開催、空港ビジネス充実などで受注を間競争激化、人手不足などを背景に、各空港を拡大し首位を狙う。新技術はPBBが待機位置から機体停止位置に取り組み。新明和は国内シェアで機体ドアに素早く接

近して完全装着する仕組み。画像センサーや人工知能（AI）技術、レーザー距離計などを組み、雨や霧、夕暮れといった環境変化にも対応する。PBB先端がボタン

一つで機体ドア50センチ手前まで接近する製品は実用化済みで、この技術も応用した。徳島空港の実証は16年から開始。既存の搭乗橋にカメラなどを設け、多様な機体でそれぞれ数百から1000回超の試験をし精度を向上。現状はPBB装着の最後の10センチは人の目視で稼働ボタンを押すが、将来は無人化・自動化の遠隔操作にする。

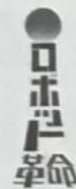
同社のPBB事業はこのほど、関西国際と大阪国際の両空港の運営会社から更新需要などでも100基の大型受注を獲得。23年末までに順次納める。成田空港の更新では16基受注し19年夏に工事を始める予定など、営業面でも攻勢を強めている。



▲PBBの構造

### 牛80頭完

オリオン機械（長野県須坂市、太田哲郎社長、026



のロロドゥンの発表と発表大80頭全自動以上の農家向けを創荷を創確保とする。販売ロロドゥンタイン

## メーター針画像で把握

### 稼働状況

操作パネル画像認識システム

ソフトウックスが投入

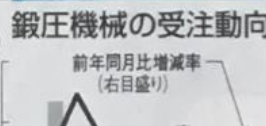


【横浜】ソフトウックス（横浜市港北区、西山清隆社長、050・30023・38223）は、機械の操作パネル画像認識システム「ソフトウェアスキャン・オメガ・アイ」写真」に機能を追加し、3月上旬に発売する。操作パネル上のメーターの針の状態をデータ化する。機能拡充で年末までに3000台の販売を目指す。ソフトウェアスキャン・オメガ・アイは操作パネル

主要な用途である工作機械以外に需要が見込

まれる産業機械なども売り込む。また、より小さな文字を認識できるように高精細カメラをオプションで用意することも検討する。ソフトウェアスキャン・オメガ・アイは2016年11月に発売。工

作機械などの操作パネルにズームカメラを設置して使う。パネル画面に表示された数値やランプを撮影し、稼働状況をデータ化。異常時には作業者のスマートフォンなどにメ



## 鍛圧機械受注3.6%増

1月258億円、2カ月連続増

日鍛工まとめ

日本鍛圧機械工業会（日鍛工）が8日発表した2018年1月の鍛圧機械の受注実績は、前年同月比3.6%増の258億8700万円です。2カ月連続で増加した。プレス系機械は同8.8%減の1

15億2000万円、2カ月連続増。板金系機械は同67.4%増の96億9000万円、6カ月連続増。両機種とも国内が堅調だった。プレス系は国内が同14.2%増、輸出が同29.1%減。海外案件

が多い超大型機・中型機が低調だった。板金系は国内が同71.7%増、海外が同62.5%増だった。17年1月の水準が低く、増加率が膨らんだ。レーザー・プレス系は倍増した。両機種を合わせた輸

は8日、2018年1月の

### 工作

## 売上高初の2000億円超

給与増などで利益減

山通 中期見込

### 決算

画を発表したほか、「順調にいけば5-6

年で売上高3000億円圏になる」(中山

也社長)との長期展望も示した。17年12月期決算は売上高が2ケタ増だったが、利益は微増にとどまった。

通販企業への卸売事業の売上高が同29.1%増の243億円と大きく伸び、工場向けも同8.1%増の1574億円と好調だった。利益段階では人件費や物流費の増加などが響

売上高	(3.2)
5,310	(3.2)
営業利益	(1.9)
6,800	(1.9)
216	( )
260	( )
278	( )